

8 月 12 日：業種間での銘柄物色が進み、VN 指数は続落

大型株は大きく変動し、ベトナム株は下落した。

しかし工業用不動産関連株に買いが入ったことで、マーケットは下げ幅を縮めた。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.35% 安の 1,353.05 ポイントとなった。売り買い交錯し、185 銘柄が上昇、183 銘柄が下落した。

売買高は約 7 億 4,200 万株で、売買代金 22 兆 7,000 億ドン（9 億 9,800 万米ドル）だった。

主要セクターでの銘柄物色が進み、マーケットの大型株は売り買いまちまちとなった。FPT グループ（FPT）、ペトロベトナムガス（GAS）、ホアファットグループ（HPG）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、PV パワー（POW）、マサングループ（MSN）、ペトロリメックス（PLX）といった主力銘柄の多くが利益確定売りに押され下落した。

軍隊商業銀行（MBB）、サコムバンク（STB）、テクコムバンク（TCB）、ベトコムバンク（VCB）、TP バンク（TPB）といった銀行株もさえない動きとなった。

その一方でヴィエティンバンク（CTG）、ビンホームズ（VHM）、ビンググループ（VIC）、バオベトホールディングス（BVH）は最も上昇が目立った。

不動産、建設セクターはマーケットを力強く支えた。DIC 不動産（DIG）、CEO グループ（CEO）、ダットサイングループ（DXG）、ホアビン建設グループ（HBC）、ハド不動産グループ（HDG）、ハドランド不動産投資開発（HLD）、フックフン建設（PHC）といった多くの関連銘柄が上昇した。

「日中のほとんどの時間、マーケットはプラス圏を維持した。しかしマーケットへの資金流入が弱まったため、大引にかけ下落に転じた」（BIDV 証券）

「VN 指数は上値抵抗線である 1,380 ポイント付近に少しずつ近づいているため、マーケットでは短期的な利益確定売りが見られた。その一方、外国人投資家はハノイ、ホーチミン市場で引き続き売り越した」

「資金流入の勢いは国内勢、海外勢ともに弱まっており、VN 指数は引き続き 1,350～1,380 ポイントでもみ合う可能性がある」

外国人投資家はホーチミン市場で 1,434 億 3,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場でも 255 億 7,000 万ドンを売り越した。

VN 30 指数は 0.73%安の 1,477.06 ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、7 銘柄が上昇し、20 銘柄が下落、3 銘柄は変わらずだった。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.36%安の 334.33 ポイントだった。

売買高は約 1 億 5,000 万株で、売買代金は 3 兆 3,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。